



# 「三本の矢」の強さ

～温もりに満ちた学校へ～



校長室だより 1月号

2025.1.29

<不撓不屈の芦中生>

- ・思いやりと温かな心
- ・言葉で伝え心で聴く
- ・自ら主体的に行動



## 1月は「行く」・・・



1月が終わろうとしています。2025年、令和7年がスタートして、もう1か月が経とうとしていますね。これは、1年の12分の1が終わるということでもあります。どうですか？みなさんにとって、「長かった」ですか？それとも「短かった」ですか？私の印象としては、「もう1月が終わってしまうのか！」という感じです。

始業式のみなさんの様子は、本当に良いものでした。久しぶりの学校での緊張感と



ともに、0学期のスタートに向けた「やる気」が伝わってくるような、そんな雰囲気を作り出していました。1月が、みなさんにとって充実した1か月であったなら、大変うれしく思います。

1月が終わると、2月が始まりますが、この2月は1月よりもさらに早く終わっていきます。28日までしかありませんが、年度末に向けて、慌たしさは加速していきます。なので、昔から、



「1(いち)月は行(い)く」

「2(に)月は逃(に)げる」

「3(さん)月は去(さ)る」



という言い方が伝わっています。この3学期、うかうかしていると何もできないまま終わってしまいます。各自が来年度への目標をもって、しっかり取り組んでいきましょう。

## 研究発表会がありました

先週23日に、今年度の芦城中学校の研究発表会が開催されました。昨年度から先生方とみなさんで取り組んできた「芦中スタイルの道德の授業」を、教育委員会の方や、他の小中学校の先生方に見ていただきました。

当日は、1年2組、2年1組、3年3組で

授業が行われました。各クラスともゲストティーチャーをお招きしての「ゲスト道德」を行いました。どのクラスも、これまでの学び方を生かした活発な話し合いや、考えの共有が行われていて、大変立派な様子でした。参観された方々からの感想の一部を載せておきます。



生徒の温かな雰囲気がとても良かったです。

生徒がゲストティーチャーの発言から新たな視点で意見を出していて素晴らしかったです。

生徒が、それぞれその子らしい考え方で発表していて、「中学生でもこんなに素直に考えることができるのか」と驚きました。

みなさんの頑張りが認められて良かったですね。これからも期待しています！